

人口 485,215人 (+206)
 男 235,810人 (+129)
 女 249,405人 (+77)
 世帯数 178,269 (+246)
 住民基本台帳による。()は前月比

平成8年
 7月21日
 第1534号

にいがた



発行日 毎週日曜日 発行新潟市 〒951 編集 総務部広報課
 学校町通1-602-1 印刷 印刷 第一印刷所

市美術館 ピカソの展示を開始 市民を魅了する巨匠の傑作



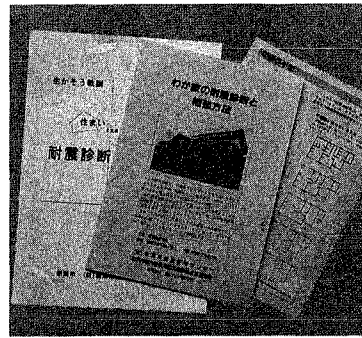
ピカソの絵にじっくりと見入る市民

市美術館では、七月七日からピカソの絵画「ギターとオレンジの果物鉢」(油彩、キャンバス、一九二五年製作)を公開しています。しながら、熱心に鑑賞して

います。美術の授業の一環として同館を訪れたという、新潟南高校の中野愛さんと大岩麻由さんは絵に重みがある「道力がある」と口々に話していました。また、ピカソを自当で訪れたという鈴木智子さん(小張木)は色遣いが大胆で厚みのある作品、新潟市にこんな素晴らしい作品があることはすてきなことと目を輝かせていました。

この作品を含めた常設展は、来年四月二十二日まで開催しています。市美術館(☎223・1622)へ

多数の参加をお待ちしています。八月一日午後一時半から八月一日午後一時半まで。市市民相談室(☎内線2062番)へ



8月1日から耐震診断補助制度がスタート

市では、耐震基準の強化が行われた昭和五十六年以前に建築された木造住宅を対象に、耐震診断にかかる経費の半額を補助する制度を八月一日からスタートします。

昭和五十六年五月以前に建築された木造住宅は、市に約六万戸。現行の建築基準法に基づく耐震性の持たないため、地震が起きた際には、大きな被害に遭う恐れがあります。このため、この制度で市民が対象に該当する住宅の耐震診断を(新潟県建築住宅センターに依頼した場合、診断費用の二分の一)を市が負担しようというものを八月一日から同センターで申し込みの受け付けを開始します。依頼により同センターは、木造住宅耐震診断士を派遣。木造住宅建築の実務経験を持つ診断士が、診断に当たります。対象建築物 ①木造の個人

新潟空港 新ターミナル完成 ＝3面に空港特集＝



新ターミナルが完成し、八月一日から使用を開始します。新ターミナルは、旧ターミナルの3面に建設され、完成後は、旧ターミナルを解体し、その跡地に駐車場を整備する予定です。

咸臨丸が寄港 クルージングに二応募を

日本海側の道府県と市町村でつくる「日本海にぎわい・交流海道推進協議会」では、この夏、北前船の軌跡を訪ねる「をテーマにイベントを実施。復元した帆船咸臨丸が、日本海沿岸の十七港に寄港します。新潟西港に寄港する八月二十八日は、乗船クルージングと一般公開を行います。お楽しみください。日時 八月二十八日(午後一時～二時半)午後三時半～五時 乗り場 山の下頭 内容 西港沖のクルージングと、船上でのロープの結び方などの体験アトラクション、ほか 定員 各回二百人 申し込み 七月三十一日(消印有効)まで(往復はがき)に時間の別、全員の氏名、住所、年齢、学年、電話番号を記入し、新潟西港課(学校町通一六〇二一 ☎内線2856番)へ

8月1日に市政懇談会 市長と両川地区の課題を

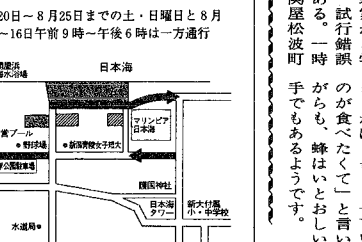
対象 両川地区在住の市市民出席者 市長、ほか 運動場 ①割野小学校の屋外運動場の整備拡充について ②高瀬地区における住宅団地の造成について ③地区の活性化に向けた広域交通基盤整備について ④上和田地区の農村活性化について ⑤酒屋地区活性化のための市営住宅建設について 申し込み 七月三十一日(消印有効)まで(往復はがき)に時間の別、全員の氏名、住所、年齢、学年、電話番号を記入し、新潟西港課(学校町通一六〇二一 ☎内線2856番)へ

市役所・市教育委員会

- ☎228-1000 (代表)
- テニスガーデンにいがた...276-8900
- 園芸センター...286-1034
- 水道局...266-9311
- 市民病院...241-5151
- 市保健所...243-5311
- 石山地区保健センター...286-4450
- 鳥屋野地区保健センター...285-2373
- 北地区保健センター...259-7332
- 西保健所...286-5171
- 北地区保健センター...262-3405
- 坂井輪地区保健センター...260-3255
- 急患診療(市医師会) 豊島科医師会
- 急患診療センター...228-2822
- 休日歯科診療センター...283-3030

マリニピア日本海 周辺 関屋浜海水浴場

20日から交通規制を実施中
 7月20日～8月25日までの土・日曜日と8月13日～16日午前9時～午後6時是一方通行



昭和56年以前 の「木造住宅」のみ

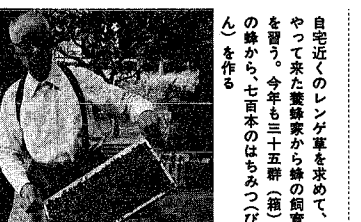
地震災害に備え 耐震診断の費用を補助

耐震診断・改修の相談窓口を設置
 建築指導課(☎内線3055番)へ
 住宅(自己用) ①二階建て以下で延べ床面積は二百八平方メートル以内 ②昭和五十六年五月三十一日以前に建築されたもの
 補助額 住宅の延べ床面積に応じ、三段階に定められた診断経費(七万円、八万円、十万円)の半額
 耐震診断・改修の相談窓口を設置
 建築指導課(☎内線3055番)へ

申し込み パンフレットに折り込まれた申し込みはがきを(郵便建築住宅センター(新光町一七新潟光ビル ☎283・0851)へ) パンフレット配布場所 本館・分館案内 地区事務所 問い合わせ 建築指導課(☎内線3055番)へ

の道一筋

養蜂家 栗林国松さん (90歳、天野)



「下はじ」という愛の浜に数箱の蜂を放置。知果の養蜂家の一言をヒントになり後で訪ねると、ニセアカシアの蜜を吸い大群に得たという栗林さん。採蜜 増えた蜂その例。期には、果箱の上段には多量に自然の採理にかなった働き蜂を、下段に「匹の女王蜂をいれ、はじこ板の板」という栗林さんは、二七ヶ月二回の採蜜に全力を傾ける。少年時代、家にあつた黒砂糖を食べ、これに似た思いが、養蜂家になる最初のきっかけと言ふ。「甘いもの食べたこと」と言ひながら、蜂はいいといひ相は廃業を考え、関屋松波町手でもあるようです。